

## 2014 年度プロセス設計発表会スケジュール

2014 年 7 月 11 日 (金)

京都大学桂キャンパス 9:10-16:30 電気系大講義室(A1-001)

時間	発表者	タイトル
(司会：渡邊先生)		
9:10-9:30	久保田将矢、銭谷優佑、西和希	トルエンを原料としたスチレンの製造
9:30-9:50	岡田洋、田中絵梨	メタンガスの水蒸気改質反応による水素製造
9:50-10:10	小川知之、佐藤健、松井公佑	天然ガスを用いたアンモニア合成
10:10-10:30	辻起士、吉田旺央、若林克弥	天然ガスを原料としたアンモニア製造プロセス

(休憩 10:30 - 10:40)

(司会：引間先生)

10:40-11:00	城所泰孝、山中博之、四月朔日大貴	直接酸化法を用いたシクロヘキサノンの製造プロセス
11:00-11:20	田中大智、綱内翔一、橋本篤	ノルマルブタンを原料とするテトラヒドロフランの製造プロセス
11:20-11:40	尾鍋洋次郎、畑慶、吉富慎一郎	メタノールのカルボニル化による炭酸ジメチルの合成
11:40-12:00	池下和輝、壺内健介、濱田光司	LNG を原料とする低級オレフィンの製造

(昼食 12:00 - 13:00)

(司会：金先生)

13:00-13:20	田中政輝、伊藤郁哉、多賀敏暉	プロパンの酸化脱水素とプロピレンの部分酸化を組み合わせたアクロレインの製造プロセス
13:20-13:40	尾村英昭、秦哲平、和田大樹	ODH 法によるエタン脱水素化からの酢酸ビニル製造プロセス
13:40-14:00	新井一毅、繁田智弘、矢田部翔多	尿素を中間生成物とする DMC 製造プロセス
14:00-14:20	生田佳奈子、正木理恵	トルエンを用いた水素貯蔵・供給システムの検討
14:20-14:40	齋藤皓介、毛利謙司、森美幸	DME を利用した水素製造プロセス

(休憩 14:40 - 14:50)

(司会：長谷川先生)

14:50-15:10	勅使河原康裕、児谷勇紀、笹倉啓佑	エチレンプラントの設計
15:10-15:30	加藤梓、殊井亮太郎、山田悟司	リグノセルロースからのレブリン酸製造プロセス
15:30-15:50	廣岡紘輔、湊敦史	マイクロリアクターを用いた接触気相酸化法によるエチレンオキシドの製造
15:50-16:10	宮岡昌平、安東恵	n-ペンタンからの無水マレイン酸、無水フタル酸の合成

(司会：長谷部先生)

16:10-16:30	馬場先生 (ダイセル) による講評	
-------------	-------------------	--

\* 発表時間 **14分**、質疑応答 **5分**、機器切替 **1分**。

\* 液晶プロジェクターを使用し、スクリーンは1つだけとする。

\* 各グループでパソコンを用意すること。事前に動作確認をしておくこと。

\* 他のグループの発表も必ず聞くこと。発表会において出欠を確認します。

\* レポートは回覧・製本するので、必ずページ番号を入れること。

\* レポートの表紙にはタイトルと氏名の他に、キーワードを日本語と英語でそれぞれ5個ずつ書くこと。

\* レポートは表紙を貼付した封筒(角2サイズ・みなし)に入れて、**7月18日(金)正午**までにPSE研スタッフ室 (A4-122) に提出すること。